

各務原都市計画景観地区の変更（各務原市決定）

都市計画テクノプラザ景観地区を次のように変更する。

| 名 称 | 面 積 | 備 考 |
|------------|-------|-----|
| テクノプラザ景観地区 | 約64ha | |

「位置及び区域は計画図表示のとおり」

| 項 目 | 内 容 | 備 考 | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|---|--------|----|----|-------------|------------|--------|--------------|-----------|------------|------|------|------------|--------|--|
| 建築物の形態意匠の制限 | <p>テクノプラザ地区の開発コンセプトを踏まえて環境、景観に配慮した空間の形成を目指したデザインとすること。</p> <p>[建築物全体]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築物のデザインは建築物自体のバランスだけでなく、周辺の建築物の形態との調和に配慮すること。 ・ 周辺の山並みや建築物のつくるスカイラインに十分配慮すること。 <p>[屋根・屋上]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築物の屋根や最上部の形態、色彩などのデザインは景観に大きな影響を与えるので、給水塔や空調の室外機などの設備を屋上や周囲に設置する場合は、屋根や囲いで隠蔽し、建築物と一体となったデザインとするなど公共の場所からの景観に配慮すること。 ・ 可能なところでは屋上を緑化し、緑の創出に配慮すること。 <p>[色彩]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺環境との調和に配慮したものとし、背景となる山並みの色彩（背景色）との関係に配慮すること。 ・ 建築物の外壁及び屋根（建具を除く。）の色彩は以下に示す内容に適合するものとし、ベースカラーに原色や突出色を使用することは禁止する。なお、色彩に関する表示については、日本工業規格Z8721に定められた規格とする。ただし、素材色（ガラス・無着色の金属板・木材など）を効果的に利用する場合やデザイン性の向上に寄与する場合で、テクノプラザ北エリア景観協定委員会、テクノプラザ南エリア景観協定委員会又はテクノプラザ東エリア景観協定委員会の議を経て、かつ各務原市景観審議会の同意を得たものはこの限りではない。 ・ 外壁の色彩については下記のとおりとすること。 <ol style="list-style-type: none"> ① ベースカラーは無彩色（明度4以上）を原則とする。有彩色の場合は明度、彩度が表1に示す範囲内のものとする。 ② デザインを重視してアソートカラーやアクセントカラーとして効果的に利用する場合に限り表1に示す範囲外の色彩の使用を認める。ただし使用面積[*]は表2に示す外壁一面に対する割合を遵守し、必要最小限とすること。 ③ 表3に示す高彩度色（明度不問）をアソートカラーとして使用することは認めない。 <p style="margin-top: 10px;">表1：有彩色の明度・彩度の許容範囲</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">色相</th> <th style="width: 33%;">明度</th> <th style="width: 33%;">彩度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0 R ~ 4.9 R</td> <td rowspan="2">5 以上 10 未満</td> <td rowspan="2">2.5 未満</td> </tr> <tr> <td>5.1 Y ~ 10 Y</td> </tr> <tr> <td>5 R ~ 5 Y</td> <td>5 以上 10 未満</td> <td>4 未満</td> </tr> <tr> <td>上記以外</td> <td>5 以上 10 未満</td> <td>1.5 未満</td> </tr> </tbody> </table> | 色相 | 明度 | 彩度 | 0 R ~ 4.9 R | 5 以上 10 未満 | 2.5 未満 | 5.1 Y ~ 10 Y | 5 R ~ 5 Y | 5 以上 10 未満 | 4 未満 | 上記以外 | 5 以上 10 未満 | 1.5 未満 | |
| 色相 | 明度 | 彩度 | | | | | | | | | | | | | |
| 0 R ~ 4.9 R | 5 以上 10 未満 | 2.5 未満 | | | | | | | | | | | | | |
| 5.1 Y ~ 10 Y | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 R ~ 5 Y | 5 以上 10 未満 | 4 未満 | | | | | | | | | | | | | |
| 上記以外 | 5 以上 10 未満 | 1.5 未満 | | | | | | | | | | | | | |

| | <p>表2：外壁一面に対する割合</p> <table border="1" data-bbox="488 257 951 405"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ベースカラー</td> <td>70 以上 100 以下</td> </tr> <tr> <td>アソートカラー</td> <td>0 以上 25 以下</td> </tr> <tr> <td>アクセントカラー</td> <td>0 以上 5 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>※割合の算出にあたっては建具の面積も含めたものとする。</p> <p>表3：高彩度色</p> <table border="1" data-bbox="488 488 892 667"> <thead> <tr> <th>色相</th> <th>彩度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0 R ~ 4.9 R</td> <td>5 以上</td> </tr> <tr> <td>5.1 Y ~ 10 Y</td> <td>7 以上</td> </tr> <tr> <td>5 R ~ 5 Y</td> <td>7 以上</td> </tr> <tr> <td>上記以外</td> <td>2.5 以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>・屋根の色彩については無彩色（明度3以上）を原則とする。有彩色の場合は明度、彩度が表1に示す範囲内のものとする。ただし、この都市計画が定められた際に現に存する建築物は、適用しない。</p> | 対象 | 割合 (%) | ベースカラー | 70 以上 100 以下 | アソートカラー | 0 以上 25 以下 | アクセントカラー | 0 以上 5 以下 | 色相 | 彩度 | 0 R ~ 4.9 R | 5 以上 | 5.1 Y ~ 10 Y | 7 以上 | 5 R ~ 5 Y | 7 以上 | 上記以外 | 2.5 以上 | |
|---------------------------|---|----|--------|--------|--------------|---------|------------|----------|-----------|----|----|-------------|------|--------------|------|-----------|------|------|--------|--|
| 対象 | 割合 (%) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ベースカラー | 70 以上 100 以下 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アソートカラー | 0 以上 25 以下 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アクセントカラー | 0 以上 5 以下 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 色相 | 彩度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 0 R ~ 4.9 R | 5 以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5.1 Y ~ 10 Y | 7 以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 R ~ 5 Y | 7 以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 上記以外 | 2.5 以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>建築物の高さの 最高限度</p> | <p>20mとする。</p> <p>ただし、この都市計画が定められた際に現に存する建築物で20mを超えているものの建替え（当該建築物の所有者等が行うものに限る。）については、当該規定にかかわらず、当該建築物の高さを超えない範囲内とする。なお、建築物の高さは、建築基準法施行令（昭和25年政令第338号）第2条第1項第6号の規定によるものとする。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>壁面の位置の制限</p> | <p>テクノプラザ北エリア及び南エリアについては、道路境界線から5m以上後退することとする。 隣地境界線からは2.5m以上後退することとする。</p> <p>テクノプラザ東エリアについては、道路境界線から3m以上後退することとする。 隣地境界線からは1.5m以上後退することとする。</p> <p>ただし、この都市計画が定められた際に現に存する建築物は、適用しない。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>建築物の敷地面積の 最低限度</p> | <p>2,000㎡とする。</p> <p>ただし、この都市計画が定められた際に現に敷地面積が2,000㎡に満たない場合で、その敷地の全部を一の敷地として使用する場合には、当該敷地面積を最低限度とする。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |